

● Infomation ● ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

イベントカレンダー

大井町立郷土資料館 イベント情報

最新出土品展「東久保の遺跡」

東久保土地区画整理事業に伴い、足かけ12年間に及ぶ発掘調査で発見された出土品を展示します。会期中には、展示資料や東久保の遺跡について現場担当者が解説する、展示説明会も行ないます。

期 間：8月6日(土)～9月4日(日)
会 場：大井町立郷土資料館 常設展示室
説明会：8月11日(木)、27日(日)
問合せ：049-263-3111 (大井町立郷土資料館)
休館日：毎週月曜日、8月31日(水)

※展示説明会は両日とも、
午前10時と午後2時の2回実施。
各回30分程度を予定しています。



東京水辺ライン イベント情報

東京水辺ラインでは、夏休み前半のイベントとして4つの河川クルーズを予定していますが、ここではその内のひとつとして「親子体験学習」を案内します。

親子で体験学習「水のこともっと知ろう！」

長い歴史の中で、荒川は私たちの暮らしとどんな関わりを持ってきたのでしょうか。夏休みの野外学習のひとつとして、「荒川知水資料館」で川や水について楽しく体験学習してみませんか？のどかな風景が広がる荒川の土手、大きな木の下で聞く「川の話・水の大事」はお子様の自由研究の材料にもぴったり。お弁当を食べながら、会話は必ず夏休みのひとときをお過ごし下さい。

開催日：平成17年8月11日(木)

内 容：(荒川知水資料館にて)荒川の土手で自分で採った植物で押し花体験、展示資料の見学、荒川の歴史をビデオで楽しく学習、荒川の水を飲んで水質検査に挑戦 など
コース：両国発着場集合(10時)～両国発着場発(10時30分)～岩淵リバーステーション着(12時)～荒川知水資料館見学・体験(12時～15時ごろ)～岩淵リバーステーション発(15時30分)～両国発着場着(17時)

募集枠：60名(応募者多数の場合は抽選)※20名に満たない場合は中止
参加費：大人3,500円、小学生2,500円(乗船料、お弁当、お茶代 含む)
締切り：平成17年7月27日(水)消印有効
申 込：往復はがきに、イベント名、参加人数、代表者の氏名・郵便番号・住所・電話番号・年齢を記入し、締切日までに応募して下さい。
(〒130-0015 東京都墨田区横網1-2-15 財団法人東京都公園協会「荒川」係)
問合せ：03-5608-8869 (財団法人東京都公園協会 事業部水辺事業課/東京水辺ライン)



事務局便り

6月末に行われた平成17年度第2回新河岸川流域川づくり連絡会(川づくり連絡会の定例会)において、今年度の「新河岸川流域フォーラム」のテーマや内容もだいぶ固まってきました。少しだけお伝えしますと、「都市化が進む武蔵野地帯にあって貴重な自然の宝庫となっている狭山丘陵を舞台に新河岸川の各支川の源流について考える」といった内容に落ち着きそうです。詳細は8月上旬発行予定の次号「里川(Vol.34)」、もしくは7月中旬頃に配布・掲示予定のチラシやポスターでご確認下さい!

●連絡先

〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1
新河岸川流域川づくり連絡会 事務局
(国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 調査課内)
TEL：03-3902-3220 FAX：03-3902-2346
URL：http://www.ara.or.jp/arage/shingashi/
E-mail：shingashi@ara.or.jp

里川しんぶんや当川づくり連絡会の活動についてのお問い合わせや情報提供につきましては、右の連絡先までお気軽にどうぞ!!

THE SHINGASHI BASIN NEWS

新河岸川流域しんぶん



発行●新河岸川流域川づくり連絡会(荒川下流河川事務所 調査課内)
住所●東京都北区志茂5-41-1 TEL03-3902-3220 FAX03-3902-2346
発行日●2005年(平成17年)7月11日

VOL.33



切り絵 毛利博範

今年も7月になりました。そろそろ梅雨も明けののでしょうか。ひと雨降るごとに夏のおいが感じられる今日この頃ですね。さて、新河岸川の各支川では、今年も7月から8月にかけてイベント盛りだくさんの川まつりが行われます。今号では「今年の夏の川まつり」として開催日やイベント内容等を紹介していますので、どうぞ皆さん!日程を確認の上、お近くの川の川まつりに足を運んでみて下さい。また、8月27日には新河岸川流域フォーラムを開催します。今年のテーマは「新河岸川から狭山丘陵を考えよう」です。詳細は次号の里川に掲載させていただきますので、こちらもよろしくお願いたします。

目次

- P2-3 レポート：全国一斉水質調査「水谷たんぼ」で田植え体験
- P4-6 特集：第7回川づくり見学会～びん沼調節池ほか新河岸川～
- P7 今年の「夏の川まつり」を紹介します!
- P8 流域イベント・インフォメーション 事務局便り

全国一斉水質調査の様子を報告します！

去る6月5日(日)に、今年で第2回目になる全国一斉水質調査が実施されました。新河岸川流域では全国に先行すること8年、今年で既に10回目の一斉調査ということもあり「さぞや皆さん手慣れていらっしゃるのでは!？」などと想像しつつも、越戸川や白子川等の調査を受け持った測定会場「和光市勤労青少年ホーム」にお邪魔しました。

集合こそ午前10時でしたが、参加メンバーは各々が担当する測定地点の川の水をペットボトルに汲む作業を7、8朝頃より行っていたようで、まずは怪我やトラブルも無く、担当する全地点の水を汲めたことにひと安心といった様子でした。

そして、測定はここからが本番です。まずは、会議室の机の上に測定結果を記入する用紙を並べ、用紙に記載された地点名に合わせて、汲んできたペットボトル入りの水を並べていきます。ここまでで準備完了といったところでしょうか。ここからは分業で、一人は電気伝導度、一人は透視度というように測定を進めていきました。

こちらでは電気伝導度を測っています。測定にはテスターを2台使っていました。これは誤差を少なくするために、基本的には高い方の値を記載するそうです。また、他の河川の水の影響を受けないう、一回ごとに製清水で測定部分を洗っていました。

こちらでは「クリーンメジャー(1300cm)」という透明の筒のような器具を使って透視度を測定しています。気になるのは測定者の視力の差とのことで、視力の善し悪しで判定数値が異なることもあるのだとか。ですから、こちらも2人以上で測定し、値に誤差が生じないように努力していました。

「正直、ざっくりとした感も否めませんが、そこが市民調査の良いところでもあり悪いところでもあります」と、測定メンバーの一人「和光の自然環境を守る会」小倉さんは言います。たとえ大まかでも同じ日時に同じ川から沢山のデータが集まることに測定の意味があるとのことでした。

さて、測定のお手伝いをしたレポーターとしても、ひとつだけ測定のポイントを発見しましたのでこの場を借りて記させていただきます。それは、各河川の水を入れたペットボトル(角ばった2リットルの容器)にも使い勝手に善し悪しがあったことです。軟らかなペットボトルだとちょっと強く握っただけで口から水がこぼれてしまいますし、ボトルの形状によっても使い勝手が異なりました。どちらかというと「なで肩」の方が水をこぼさずに注ぎやすかったです。



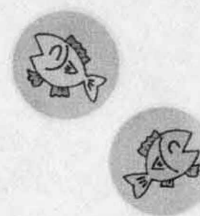
測定結果を記す記入用紙と合わせて測定地点の水を置きます。



電気伝送度を測定するテスターです。2台利用で誤差を減らします。



クリーンメジャーを覗き透視度を測定する参加者の皆さん。



ペットボトルについても一言..

水を汲むペットボトルは、できれば購入した水の入っているペットボトル、いわゆる「〇〇の天然水」とか「〇〇の自然水」の水を、その場(測定ポイント)で抜いて(中身を捨てて)川の水を汲むのがベストとのことでした。

ですが、さすがにそれはもったいないし、その分手間もお金もかかるので、せめて元々は水の入っていたペットボトルを利用したいものです。ウーロン茶やコーラなどが入っていたボトルですと、水濯ぎでは少なからず残った飲料の影響を受けますし、洗剤で洗うと洗剤の影響を受けるので、なるべく使わないようにしましょう。

水谷たんぼで田植え体験／ふじみ環境クラブ

6月12日(日)には、ふじみ環境クラブが主催する「水谷たんぼの田植え体験」が行われました。2日前の6月10日に梅雨入りしたばかりでしたが、当日は晴天に恵まれ、大人から子供まで20人近くの方が参加しました。

ふじみ環境クラブでは、水谷たんぼ(浦和所沢バイパスに程近い北西の角付近)の一角にある地主さんから借りた田んぼを利用した体験学習を実施しています。

代掻き、草取り等々と、田んぼの作業にもいろいろありますが、今回はそんな中でもメインとも言える田植えでした。

2本の棒に紐を渡したものを田んぼの端から端に張って、その紐を目安に一列になって稲を植えていきます。田んぼは二つに分けられていたので、最初の区画にはコシヒカリ、次の区画には古代米を植えました。

子供たちは初めこそはしゃいでいましたが、4~5列目を植える頃になると飽きてしまったのか、半数は田植えなどそっこので、近くのあぜや水路で虫や魚を捕まえました。

ふじみ環境クラブ代表の河原井さんに聞いたところ、「この後は定期的に草刈りなどを予定していますが、大切なのはこまめな水の調整です」とおっしゃっていました。以前は参加者の当番制で水の調整をやっていたのですが、遠方からの参加者もいるので、今ではふじみ環境クラブの有志にて、田んぼに土面がのぞかないよう(土の面が見えないよう)調整を行っているとのことでした。何でも、土の見えるところから雑草が生えるので、稲が常に水の中から顔を出す状態を保つのが一番だそうです。そうすれば秋の収穫にも期待がもてそうです。

さて、2つ目の区画を植え終えた後は、水路の水で手足の泥を落としてしばし休憩し、その後は三々五々での解散となりました。ザリガニを持ち帰る人やあまったコシヒカリの稲を持ち帰る人もいましたが、参加者全員が、都市の中の貴重な田園空間での「田植え」という素晴らしい経験を持ち帰ったことでしょう!



張られた紐を目安に稲を植えていく参加者の皆さんです。



こちらの子供は全身泥だらけ。お母さん洗濯が大変そう!?



今年の秋にもたくさんの穂が収まりますように。(写真は昨年)

第7回 川づくり見学会 「びん沼調節池 ほか 新河岸川」

去る6月25日(土)に第7回の川づくり見学会を実施しました。

今回は「新河岸川の治水を知る」をテーマに、川越市と富士見市との境を流れるびん沼川での治水の取り組みや、志木市宗岡地区の治水の歴史等について見学しました。

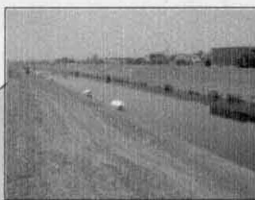
びん沼川はもともと荒川の本流でしたが、大正14年から行われた改修工事により荒川は現在の流路となり、それまでの荒川は出口のない瓶のような沼となって残り「瓶沼」と呼ばれるようになりました。

このように、荒川にとっては旧河道となるびん沼川ですが、新河岸川の治水を考える上では重要な役割を担っています。以下①～⑦の見学ポイントをご確認下さい。



① 寺尾調節池

約13haの面積を有するこの池の南西からは湧水が湧いているとのことでした。護岸を工夫した環境整備がはかられています。



② 新河岸川放水路

新河岸川の洪水時の水をびん沼川に放流するための水路です。土日は多くの釣り人でにぎわっています。



③ 新河岸川旧河道

放水路の付近には新河岸川の旧河道が残され、貴重な生態系を有する場となっています。



⑥ 福岡江川

護岸を保護するために開けられた複数の河床の穴から勢いよく湧水が湧き出していました。埼玉県生態系保護協会の野沢さんが案内してくれました。



④ びん沼調節池 (B地区)

写真正面の丘は池を掘削した際に搬出した土砂で整備されました。また、写真右の保全された斜面はサギのコロニーになっているそうです。



⑤ びん沼調節池 (E地区)

一見草原のようにも見えますが、写真の奥の方には水生植物が生育する湿地があります。生物の息に影響を与えない場所には、散策路や観察デッキなどが整備されています。



この見学会・交流会は、新河岸川流域フォーラムと並行して継続的に活動を行うことで、川づくりへの市民の関心の醸成、また、団体間における円滑な情報交換・交流等の促進に期待し、各河川での川づくり活動の充実を目的としています。



一部分が明治時代に創られたレンガ造りの樋門です。よく見ると確かに明治という年号が刻まれています。宗岡地区はエコシティ志木代表の天田さんが案内してくれました。

⑦-1 宗岡地区 (明治時代の樋門)



写真右側の写っていない所が江戸、撮影地点が平成、左側の桜並木が昭和に造られた堤防です。また、よく水の出たこの地域では、堤防より高い場所に「水塚」という蔵を置き、家財道具などを守っていました。

⑦-2 宗岡地区 (江戸・昭和・平成の堤防)

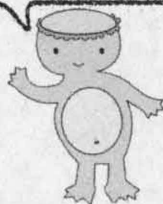
当日は梅雨明け前でしたが、夏を思わせるような暑い日差しの中での見学会となりました。そんな中、各見学ポイントを案内して下さった、エコシティ志木の天田さん、埼玉県生態系保護協会の野沢さん、新河岸川総合治水事務所の皆さんにこの場をお借りして御礼申し上げます。

交流会での主な意見など！

「新河岸川治水対策」についての感想

- 寺尾調節池では、この先どのような整備が進んでいくのですか？
→総合治水事務所ではできることは基盤整備までで、例えば、公園やレクリエーション施設など、それ以降の整備については、関連する自治体である富士見市や川越市と協力・調整しながら進めていくことになるでしょう。
- 池の周囲に木を植えたり、ピオトープをつくることは可能ですか？
→整備については関連する各市の財政事情にも左右されるでしょう。
- びん沼調節池は広々とした雰囲気を残して整備されており、日本の川も「まだまだ捨てたものじゃない」と思いました。
- 福岡江川と新河岸川との合流点にも、魚などが行き来できるような仕組みができるとうれしいと思えました。 など

こちらは、見学会の後に実施した交流会で交わされた主な意見になります。
→は行政から出席した方の個人的な意見等になります。



「新河岸川の旧河道のあり方」についての意見

- 何もしないこと、何も手を加えないことも一つの方法になると思いますが、草ぼうぼうの状態しておくのもどうかと思いますので、例えば少しだけ手を加えるなど、そのあり方について皆さんで議論できればと思っています。
- 水面が見えなかったのですが、流量はどれくらいあるのですか？
→溜まり水と排水のみなので量は決して多くないです。今のところ流量は把握していません。
- 名残川などの貴重な生態系を有する場所が、市の将来計画に「貴重で保存すべき」と記されているにも関わらず、突然埋め立てられてしまった例があります。
→河川整備に伴う旧河道（残地）は、基本的には自治体による「残地の有効利用」として使われることが多いのですが、河川管理者としても有効利用を考えていきたいです。 など



見学会の後、志木市パルシティで行われた交流会の様子です。

今年の「夏の川まつり」を紹介します！

7.17 落合川（東久留米）

第12回 わくわく川掃除&川あそび
～川をきれいにして川で学び遊ぼう～
【日時】 7月16日（土）17時～20時30分
当日：7月17日（日）10時～15時
【場所】 落合川沿い不動橋広場
【内容】 河原のミニコンサート、野外映画上映
当日：川掃除、ポート遊び、パネル展示 など
【主催】 わくわく川掃除&川あそび実行委員会
【問合せ】 04-2472-0882（菅谷）

7.24 東川（所沢）

東川の川を調べてみよう！※小雨決行
【日時】 7月24日（日）9時～12時
【場所】 川端橋（所沢市立東中学校前）
【内容】 清掃、魚類調査、水質調査
【主催】 東川を愛する会
【問合せ】 04-2944-7469（手島）

7.30 柳瀬川（清瀬）

第4小学校サタデースクール「せせらぎ探検隊」
【日時】 7月30日（土）9時～12時
【場所】 台田団地近くの河畔
【内容】 段ボールポート遊び、魚取り など
【主催】 第4小学校「せせらぎ探検隊」
【問合せ】 04-2491-2348（神沢）

8.21 柳瀬川（志木）

「柳瀬川・野鳥ウォッチング&水族館」
【日時】 8月21日（日）9時～12時
※雨天中止
【集合】 志木中学校前の柳瀬川土手
【内容】 野鳥調査：柳瀬川沿いの約4km 弱を散策調査
魚類調査：柳瀬川で魚を捕り、調査し水族館展示します。
【主催】 NPO法人エコシティ志木
【問合せ】 048-471-4275（毛利）

今年もリレーフェスティバルを実施します。川まつりに参加したらスタンプを集めようね！



7.18 富士見江川（富士見）

「富士見江川・川まつり」～お魚捕りと川あそび～
【日時】 7月18日（祝・月）10時～12時
※雨天中止
【場所】 山崎公園横の富士見江川・土手
※富士見市健康増進センター横にある川の少し上流です。
【内容】 富士見江川で魚を捕り、調査し、水族館展示をします。
【主催】 ふじみ環境クラブ
【問合せ】 0492-51-9659（河原井）

7.30 北川（東村山）

第10回 北山わんぱく夏まつり
【日時】 7月31日（日）10時～16時
※30日は19時から野外映画会
【場所】 30日北山小学校、31日北山公園
【内容】 北山カヌー遊び、魚取り、野遊び、ライブ演奏、出店 など
【主催】 第10回北山わんぱく夏まつり実行委員会
【問合せ】 04-2395-7705（渡辺）

8.7 黒目川（新座）

第7回わいわい川あそび
「アユのいる黒目川」～川の石で絵を描こう～
【日時】 8月7日（日）10時～14時
【集合】 栗原1丁目公園前
【内容】 川掃除、魚類調査、水質調査、舟遊び、スイカ割り など
【主催】 黒目川流域川づくり懇談会
【問合せ】 048-477-7015（新井）

8.21 不老川（入間）

魚になろう魚になろう！「第6回大森の池まつり」
【日時】 8月21日（日）10時～15時
【場所】 大森調節池（入間市宮寺）
【内容】 ポート、カヌー乗り、魚とり、水鉄砲づくり、音楽会 など
【主催】 大森の池まつり実行委員会、不老川流域川づくり市民の会
【問合せ】 04-2965-1741（相馬）

8.21 黒目川（朝霞）

黒目川・川まつり
【日時】 8月21日（日）10時～14時
【場所】 新高橋下流左岸の川原（溝沼郵便局横）
【内容】 川掃除、魚類調査、水質調査、舟遊び（ゴムボート、カヌー）など
【主催】 黒目川川まつり実行委員会
【問合せ】 048-466-0916（藤井）